

おおたわら 社協だより

2018
8月号

Ohtawara Shakyo Dayori

(第211号)

発行所 大田原市浅香3-3578-17
大田原市福祉センター内
社会福祉法人
大田原市社会福祉協議会
発行人 会長 津久井 富雄
発行日 平成30年8月1日
印刷所 (株)近代工房

地域の安全をみんなで考えました！



野崎中学校 1 年生 災害図上訓練の様子

災害図上訓練(DIG)とは

Disaster (災害)、Imagination (想像力)、Game (ゲーム)の頭文字をとって名付けられました。地図や見取り図に参加者自身が書き込みをすることで、自分の地域や住まい・職場に潜む災害の危険性を「見える化」し、どうすればよいかをみんなで考える防災訓練です。

野崎中学校では、生徒と地域の方が一緒に考え、普段からの地域のつながりが大切だということを学びました。

目次

P1…………… ふくし共育（災害図上訓練）
P2～P3… 福祉委員・民生委員連絡会議
協議体・寄付報告
P4…………… 平成29年度事業報告 理事・評議員名簿
P5…………… 平成29年度決算報告・貸借対照表

P6…………… ホームヘルパー募集
市社協カレンダー・各種相談
裏面から ボランティア情報紙「だいすき」
P1…………… ボランティアグループ紹介
P2…………… フードバンク活動
ボランティア連絡協議会会員募集

地域福祉をすすめる おおきな力

福祉委員

市社協では、5～6月にかけて地区ごと（一部合同）の福祉委員・民生委員連絡会議を開催しました。

今日、少子高齢化、地域のつながりの希薄化、孤立など様々な課題がありますが、決して他人ごとではありません。「わが事・丸ごと」の地域共生社会を目指して、支え合いの地域づくりを、みんなで力を合わせて進めていくことがとても重要です。

連絡会議では、各地域でのつながりをどのようにしていくかをねらいに、グループごとに話し合い、「日頃からどのようなことを気にかけたらいいのかが「地域で気になることがあった時ど



熱心な話し合い
～地域で気になること～



話し合い、楽しく盛り上がりました!

うするか「意見を出し合いました。（民生委員や自治会長の動きなどを確認することができました。）

「高齢の方やひとり暮らしの方気になるよね。」「困っていると放っておけないね。」など、地域を見守る力強い声が会場のあちこちで聞かれました。

○福祉委員の活動

福祉委員は、各自治会長から推薦をいただき、市社協会長が委嘱し、173名の方が各地域で活動しています。

- ①自治会や地区社協の福祉活動の推進役
- ・見守り活動
- ・敬老会など
- ・食事サービス（調理・配食）ボランティア
- ・ふくし共育
- ②地域で気になることを見つけたら、一人で悩まず、自治会長や、民生委員につなぐ。



ささえる愛おたわら

助け合い事業

生活支援体制整備事業

第2層協議体が

動き出しました!

本年度から、全国の市町村で一斉に「生活支援体制整備事業」がスタートし、住民が中心となった「ささえあいの地域づくり」の実現を目指した活動が始まりました。

★事業の背景

超高齢社会を迎え、今後さらに高齢化が進むことが予想され、支援が必要な人の増加に加えて、税金や介護保険料が増えていくこと、担い手や支えてくれる人の不足、様々な支援活動やサービスが減ってくる…などの問題があります。

★事業の位置づけ

そのような背景から、住み慣れた地域で、年をとっても、障がいがあっても、できるかぎり自分のことができることを続けながら安心して暮らし続けることができるよう、「住まい、医療、介護、介護予防、生活支援」が一体的に提供される「地域包括ケ

アシテム」の仕組みづくりが進められ、この生活支援体制整備事業は、その中の「介護予防・生活支援」を更に充実させていくための事業です。

★事業の内容

地域のささえあいを更に発展・推進させる「地域づくり」の取り組みです。その主体は地域住民の皆さんです。

現在大田原市では、大田原市全体を単位とする第1層を市高齢者幸福課で担当し、「協議体（※1）」と「生活支援コーディネーター」を設置しました。

また、市内12の地区を単位とする、第2層を本協議会が市から委託され、それぞれの地区に「協議体」と「生活支援コーディネーター」を設置し、事業を進めています。

※1 協議体とは、地域でささえあいの地域づくりを進めるための話し合いの場

市内12地区第2層協議体の主な動きとして、今回は東部地区協議体の動きを紹介します。

東部地区では、これまで5回の協議体会議を開催し地域の生活課題を出し合い、7月には約100人の参加者が7つのグループに分かれ、3～6の自治会ごとに「まとめたマップをもとに地域資源調査を行いました。

寄付報告

平成30年5月16日から7月15日までに、社会福祉のために
お寄せいただいた寄付の報告です。皆様の温かい善意に心よ
り感謝申し上げます。

◆大田原市社会福祉協議会寄付

- ♥大田原市グラウンド・ゴルフ協会 様 70,000円
- ♥大田原市建設業協同組合 様 20,000円
- ♥連合栃木那須地域協議会 様 15,000円
- ♥佐藤 鎮雄 様 10,000円
- ♥大田原皐月会40周年花季展 会長 加藤 恵三 様...50,101円
- ♥栃木県大衆音楽家協会県北支部 様 20,000円
- ♥大田原市グラウンド・ゴルフ協会 野崎支部 金田支部 様... 4,500円
- ♥黒羽陶芸クラブ 様 30,000円

◆大田原市善意銀行寄付

- ♥連合栃木那須地域協議会 様 タオル 160本
- ♥栗原 敏子 様(453回) 30,000円
- ♥栃木県退職公務員連盟 那須北支部 様 タオル 890本
- ♥株式会社エツリン 様 電子レンジ1台・炊飯ジャー1台



栃木県退職公務員連盟那須北支部 様



連合栃木 那須地域協議会 様



大田原皐月会 様

参加者の感想

- 地域の福祉活動の色々なところ
で、福祉委員がかかわって
いることが分かった。
- 隣近所や自治会での、日ご
ろからの付き合い、コミュニ
ケーションがとても大切だと
つくづく感じた。
- 自分だけの考えではなく、皆
さんと一緒に考えて対応したい。
- 地域の子どもたちのことも、
もっと身近な問題として考え
たい。



東部地区協議体
地域の課題



東部地区
地域資源調査会議

主任紹介

金田地区思いやり隊



主任兼生活支援コーディネーター

松本 淳子

安心して元気に生活できる
地域作りを、皆様と一緒に考
えていきたいと思っております。
よろしくお願いいたします。

平成29年度事業の報告

I 地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業

1 安心生活見守り事業

- ①見守り支援活動を市内12地区で実施 参加者2,551名
利用者約1,780名
- ②視察受け入れ5回128名
- ③救急医療情報キットの利用支援 累計約1,300本

2 生活支援体制整備事業(ささえ愛 おおたわら 助け合い事業)

市からの受託事業、地域で多様な主体が多様なサービスを提供できる体制を整えることで、高齢者の生活の安心と活躍の場の確保ができるような地域づくりを進めます。社協は、見守り事業を母体として、第2層協議体を地域に設け、生活支援体制づくりの話し合いを進めています。

3 地域福祉活動計画の推進

(1)第二次地域福祉活動計画推進事業

基本理念は「おたがいを おもいやり たのしく わらってくらせるまちおおたわら」

市地域福祉計画と一体の、「第二次大田原市地域福祉計画・大田原市地域福祉活動計画」の取り組み推進

(2)地域座談会の開催

第三次地域福祉計画、地域福祉活動計画策定のため、地域の課題を出していただく座談会を開催しました。(12回開催、参加者のべ342名)

(3)地域福祉に関するアンケートの実施

地域福祉活動に対する市民の意識調査を行いました。

4 小地域福祉活動

(1)福祉委員(174名)による、小地域ネットワーク活動推進

(2)地区社会福祉協議会の活動支援

- ①研修会:全国校区・小地域活動サミットin NIKKOへの参加
- ②地域事業への活動助成(普通会費の配分)4,091,825円
- ③食事サービス活動への助成(10,687食)1食あたり400円
- (3)いきいきクラブ会員の友愛訪問活動支援

5 ボランティア活動の推進

(1)ボランティアセンター事業

- ①中高生が考える福祉のまちづくりJIN大田原
- ②栃木県・大田原市総合防災訓練
- ③災害ボランティア講座
- ④栃木県・県北地区災害ボランティア対応力向上訓練
- ⑤市民のまちづくり事業(市、国際医療福祉大学ボランティアセンターと共催)
- ⑥市ボランティア連絡協議会との連携、協力
- ⑦ボランティア活動保険加入推進(4915名加入)
- ⑧ボランティア登録の推進(147団体、約4600名)
- ⑨機材貸出

(2)災害にも強い地域づくりの推進

- ①災害ボランティアセンター運営連絡会の開催

6 ふくし共育推進事業

(1)ふくし共育(福祉教育)の推進

- ①「ともに生きる」(福祉教育読本)の小中学校への配布
- ②学校等の福祉教育への支援(40回)
- ③おおたわら小・中学校福祉教育(ふくし共育)研究会
- ④民生委員協力者育成事業
民生委員活動普及啓発セミナー
民生委員活動一日体験事業(高校生)

(2)地域福祉啓発イベント開催事業

- ①はくらのまちのウォークラリー開催支援

(3)広報充実事業

- ①機関紙「おおたわら社協だより」(年6回)発行、「おおたわらこども社協だより」(年2回)発行
- ②インターネット・ホームページによる広報

(4)社会福祉士養成課程実習生の受け入れ(大学生の実習)

II 福祉サービスを利用しやすくするための支援事業

1 総合相談事業の実施

- (1)生活困窮者自立支援事業(新規相談77件、継続案件多数)
- (2)心配ごと相談事業(本所、支所2箇所毎月開催)
- (3)福祉金庫貸付事業(新規25件、返済完了31件)
- (4)生活福祉資金貸付事業(相談60件、新規貸付8件、償還完了9件)

2 日常生活自立支援事業(あすてらす)

収支判断能力が不十分な方の支援
年度末の利用者数 79名 支援員23名

III 在宅福祉サービス実施事業

1 介護保険サービス

- (1)訪問介護事業
- (2)受託訪問介護事業(生活支援ホームヘルプサービス)

2 障害福祉サービス事業

- (1)計画相談支援
- (2)居宅介護(ホームヘルパー派遣)
- (3)同行援護(視覚障がいのある方)
- (4)移動支援

3 その他のサービス

- (1)日常生活用具貸与(ベッド、車椅子)
- (2)リフト付き自動車貸出事業(車椅子用車両)利用72件
- (3)福祉サービス適正化事業(苦情対応)
- (4)大田原ボランティアポイント制度事業(与一いきいきメイト養成)



IV 法人の基盤強化事業

1 福祉のまちづくり市民参加運営

- (1)理事会、評議員会の開催
- (2)社会福祉協議会会員加入促進(普通会員16,367世帯、特別会員764件、賛助会員32件)

2 基金・寄付事業

- (1)善意銀行(平成29年度預託額471,044円、物品預託10件)
- (2)ぎんなん基金(地域福祉基金)(平成29年度寄付109,090円)
- (3)赤い羽根募金(共同募金)(平成29年度募金額10,319,487円)
配分金は、食事サービス、地区社協活動、福祉教育副読本印刷費などに活用
平成29年度は、おおたわらを良くするしくみ応援助成を募集(地域の課題解決を目指す活動を支援しました。)

3 その他

- (1)大田原市福祉センター管理運営(利用602件)
- (2)おもちゃ図書館運営

大田原市社会福祉協議会理事・評議員

平成30年は、大田原市社会福祉協議会役員の一部改選を行いました。太字が新任の方です。

(敬称略・順不同 平成30年8月1日現在)

理 事:12名

津久井 富雄 高野 礼子
筒井 雅治 伊藤 耕一
小池 利雄 廣瀬 憲一
伊藤 都 佐原 市郎
木村 章穂 小西 久美子
根本 修 岩井 芳朗

監 事:2名

伊藤 三良 土屋 幸枝

評議員:18名

室井 敏雄 新巻 満雄
深澤 正夫 湯浅 泰正
益子 安子 川上 清
國井 頼邦 湯本 友子
小林 久子 小西 孝夫
鈴木 作三 磯 由美子
永岡 明子 磯 政裕
伊藤 清幸 前田 則隆
和久 千夏子 安在 保男

平成29年度 収支決算書 (法人全体)

(単位：円)

< 収入 > (①+②+③+④) 収入計222,558,972円

①事業活動による収入計	206,858,143
会費収入	9,379,650
寄附金収入	1,852,423
経常経費補助金収入 (市・県社協)	105,921,001
受託金収入 (市・県社協)	47,942,839
貸付事業収入 (福祉金庫)	633,000
事業収入	893,236
負担金収入	2,912,342
介護保険事業収入	22,981,407
障害福祉サービス等事業収入	12,574,732
受取利息配当金収入	1,426,678
その他の収入	340,835
②施設整備等による収入計	7,380
③その他の活動による収入計	8,631,000
④前期末支払資金残高	7,062,449

< 支出 > (⑤+⑥+⑦) 支出計216,608,703円

⑤事業活動支出計	207,983,986
人件費支出	165,045,949
事業費支出 (安心生活見守り事業・生活困窮者自立支援 事業・相談事業・福祉教育等)	18,593,470
事務費支出	9,675,942
貸付事業支出 (福祉金庫)	513,000
助成金支出 (地区社協・見守り隊・ボランティア団体)	14,155,625
⑥施設整備等支出計	1,800,144
⑦その他の活動支出計	6,824,573
⑧当期末支払資金残高	5,950,269



貸借対照表 (法人全体)

平成30年3月31日現在 (単位：円)

< 資産の部 >

流動資産	17,662,369
現金預金	11,989,959
事業未収金	5,680,979
徴収不能引当金	-8,569
固定資産	338,681,301
基本財産	3,010,161
土地	10,161
定期預金	3,000,000
その他の固定資産	335,671,140
建物	183,321
車輛運搬具	776,909
器具及び備品	2,533,933
有形リース資産	2,999,376
無形リース資産	2,896,020
投資有価証券	138,475,240
長期貸付金	856,970
退職手当積立基金預け金	96,547,183
退職給付引当資産	22,337,852
地域福祉基金積立資産	63,691,526
善意銀行積立資産	4,372,810
資産の部合計	356,343,670

< 負債の部 >

流動負債	21,156,253
事業未払金	6,175,720
1年以内返済予定リース債務	1,800,144
預り金	3,527,672
職員預り金	2,017,277
賞与引当金	7,635,440
固定負債	134,391,122
リース債務	4,095,252
退職給付引当金	130,295,870
負債の部合計	155,547,375

< 純資産の部 >

基本金	3,010,161
基金	202,166,766
地域福祉基金	202,166,766
国庫補助金等特別積立金	616,670
その他の積立金	26,710,662
職員給与退職積立金	22,337,852
善意銀行積立金	4,372,810
次期繰越活動増減差額	-31,707,964
(うち当期活動増減差額)	-17,058,415
純資産の部合計	200,796,295
負債及び純資産の部合計	356,343,670



心配ごと相談日・市社協の主な行事予定

日	月	火	水	木	金	土
			8/1	2	3	4
			●心配ごと 13時～16時	●心配ごと 9時～正午 佐久山おもいや り隊茶話会 9時～正午 ちかその思いやり 隊認知症サポーター 養成講座 18時30分～20時 30分	●心配ごと 9時～正午	
5	6	7	8	9	10	11
	与一いきいきメ イト養成講座② 9時30分～正午				●心配ごと 9時～正午	山の日
12	13	14	15	16	17	18
				●心配ごと 9時～正午	●心配ごと 9時～正午	上野薬団地居 場所活動 9時30分～11 時30分
19	20	21	22	23	24	25
			ちかその思いや り隊徘徊声掛け 訓練 13時30分～16時 30分	与一いきいきメ イト養成講座③ 9時30分～正午	●心配ごと 9時～正午 佐久山おもいや り隊会食会 9時～13時 紫塚地区協議体 13時～15時	
26	27	28	29	30	31	9/1
野崎ニュータ ウンふれあいの ミニサロン 10時～正午		平成30年度共同 奨学金会談 13時30分～15時		東部地区生活支 援体制整備事業 研修会 13時30分～15時 30分	●心配ごと 9時～正午	
2	3	4	5	6	7	8
			●心配ごと 13時～16時 ちかその思いや り隊第2回隊長 会議 19時～20時30分	●心配ごと 9時～正午	●心配ごと 9時～正午 東部地区第2回 チーム会議・協 議体会議 13時30分～16時	
9	10	11	12	13	14	15
			与一いきいきメ イト養成講座④ 9時30分～正午		●心配ごと 9時～正午 佐久山地区協議体 16時～17時	ふれあい紫広 場 8時～14時
16	17	18	19	20	21	22
	敬老の日	須賀川地区協議 体 13時30分～15時		●心配ごと 9時～正午	●心配ごと 9時～正午	
23	24	25	26	27	28	29
秋分の日	振替休日	与一いきいきメ イト養成講座⑤ 9時30分～正午	東部地区第2回 隊長会議 13時30分～15時		●心配ごと 9時～正午	災害ボランティ ア講座
30	10/1	2	3	4	5	6
			●心配ごと 13時～16時	●心配ごと 9時～正午	●心配ごと 9時～正午	
7	8	9	10	11	12	13
	体育の日 東部地区ふれあ いひろば 8時～17時				●心配ごと 9時～正午	

◆心配ごと相談

地 区	会 場	連絡先
● 大田原	市福祉センター	23-1130
● 湯津上	佐良土多目的交流センター	98-3715
● 黒 羽	市社協黒羽支所	54-1849

※民生委員児童委員が相談に応じます。秘密は守られます。

◆ボランティア相談

「ボランティア活動したい」「ボランティア活動して欲しい」などの相談に市社協職員が応じます。月～金曜日午前9時～午後5時（祝祭日・年末年始除く）場所：市社協本所

※人権相談・行政相談については、市広報紙・「大田原市ホームページ」(<http://www.city.ohawara.tochigi.jp/>) をご覧ください。

急募

登録ホームヘルパー 募集



1,200円～

時 給

勤務時間

8:00～18:00の間で

勤務時間応相談

働きたい時間に・短時間でも

勤 務 地

大田原市内（旧黒羽町）

資 格

初任者研修課程修了者
（旧ヘルパー2級）以上
介護福祉士

問 合 せ

☎0287-54-1849

大田原市社会福祉協議会黒羽支所

日常生活用具・リフト付き自動車を貸し出します。

☆日常生活用具（車いす、介護用ベッド）

※湯津上支所は車いすのみの貸し出しです

●内 容

介護保険が利用できない場合や、一時的なけがや病気などにより障がいが生じた場合に、当事者や介護者の負担軽減を図るため、車いす、介護用ベッドを無料で貸し出します。

●申込方法

あらかじめ、貸し出しを受けた用具の利用希望日などを電話で確認のうえ、申請者の印鑑をお持ちになり、社会福祉協議会本所および支所で申請書を記入し申し込みをお願いします。

☆リフト付き自動車

※車両の貸し出しは本所のみです。

●内 容

車いすを使用しているために、公共交通機関の利用が困難な市内在住の在宅者に対して車いす用リフト付き自動車を無料で貸し出し、在宅福祉の向上を図ります。

●申込方法

あらかじめリフト付き自動車の利用希望日などを電話で確認のうえ、申請者の印鑑・運転者の運転免許証をお持ちになり、3日前までに社会福祉協議会本所および支所で申請書を記入し申し込みをお願いします。

もったいない食べ物からありがとう！へ！

フードバンク活動を知っていますか？

日本では、1年間に500万トン～900万トンもの食べ物が、消費期限前で食べられるにもかかわらず、廃棄されています。その一方で、今日食べるものがない困窮した生活を強いられている人々が数十万人もいると言われています。

大田原市においても、そのようなもったいない食品を、生活に困窮している世帯や子ども食堂など、支援を必要としている人たちに届け、**ありがとう！**の食品に生まれ変わらせる活動を進めています。

余っている食品をご寄付ください！

押し入れて眠っている引き出物、ワケありで販売できない在庫食品などありませんか。フードバンクには以下のような食べ物を寄付できます。

麺類、お米、缶詰、インスタント食品、レトルト食品、粉ミルク、調味料、食用油、海苔、ふりかけ、お茶漬け、ギフトパック(お中元・お歳暮等)、飲料(ジュース、コーヒー、お茶など)

※消費期限が1ヶ月以上ある未開封のもの

平成29年度の
県北地区では…

食べないけど、
捨てるのは
もったいないなあ…



寄付者 397人
総重量 約4トン

必要としている方に
お届けします！



ありがとう！



支援数 447件
総重量 約3.8トン

食品のご寄附は下記まで！

- ①とちぎVネット県北事務所 ☎0287-48-6000
- ②市社会福祉協議会 自立相談係 ☎0287-23-1130

☆平成29年度大田原市内における利用者状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者	13	12	8	13	11	11	8	10	9	9	7	10	121

ボランティアどうし、つながってみませんか？

～大田原市ボランティア連絡協議会大田原支部 会員募集中！～

大田原市ボランティア連絡協議会 大田原支部では、加入団体、加入者(個人)の募集をしています

本会は、ボランティア活動団体どうし連携し、情報交換、親睦を図り、社会福祉に寄与することを目的とした会です。

ボランティア活動の中核となり、支えあい助け合って生きるまちづくりを目指しています！

みなさまの加入を、心よりお待ちしております。

☆関心がある方、質問でも構いません。

どうぞご連絡ください。

連絡先 090-9854-4160(支部長 磯 由美子)



しあわせ広場

☆おもな活動内容

- ・与一まつりで、しあわせ広場の開催
“ノーマライゼーションを目指して
お祭りのなかへ”
- ・福祉ふれあい祭りの舞台担当 など

ボランティア
情報紙

湯理美会

平成7年設立 代表 木村紀男さん 会員11名

ボランティア
紹介コーナー

湯津上地区で理容・美容店を営む仲間で結成したグループで、老人ホームへ伺い入所者の散髪をしています。身だしなみを整えることや、メンバーと利用者の交流を通して生きがいづくりを支援しています。



おしゃべりが弾みます♪

♡活動について

特別養護老人ホーム「ほのぼの園」で、月2回の頻度で活動をしています。自分でお店を訪れることが難しい入所者を中心に散髪を行います。ご希望を丁寧に聞いて、お店にいるような雰囲気を心がけます。また、メンバーとの交流を楽しみにしている利用者さんもいて、有意義な活動であると感じています。

♡がんばっていること

座ることが難しい利用者さんなどは、施設職員と協力しながら慎重に散髪します。お体の負担を含め、安全面にはとても気を遣います。

♡メンバーの声

「キレイになって嬉しい」そんな声が大きな励みになります。施設や利用者さんとのつながりを大切にしながら続けていきたいと思ひます。



ベテランの理美容師さんたちです

平成30年度・災害ボランティア講座のお知らせ

災害が発生してから行政や支援団体の救援が届くまでには時間がかかることが予想されるため、地域住民同士の助け合いや、ボランティアの活動が大きな力になります。「そのとき」どんな行動をすればいいのか、どんなことができるのか、地域のみんなで考えてみませんか。

日時：9月29日(土) 午後1時～4時

会場：大田原市西地区公民館2階会議室

講師：柴田 貴史 氏(鹿沼市社会福祉協議会)

内容：①災害ボランティアの基礎知識
②自分にできることを考えてみよう！

対象：高校生以上で、市内にお住まいまたは通勤通学
されていて災害ボランティアに関心のある方

定員：50名

申込：9月7日(金)までに市社協(下記)までお電話ください。



ボランティア募集情報は、市社協ホームページのブログに掲載しています。

大田原市社会福祉協議会は、みんなのふだんのくらしのしあわせを応援しています！

【本所】

浅香 3-3578-17
大田原市福祉センター内
☎ 23-1130・24-0294
FAX 23-1138



あすてらす
おおたわら
☎ 23-7375

【湯津上支所】

佐良土 853
佐良土多目的交流センター内
☎ 98-3715
FAX 98-8011



【黒羽支所】

黒羽田町 848
☎ 54-1849
FAX 54-2745



大田原市
社会福祉協議会
介護事業所

市社協ホームページ URL <http://www.ohtawara-shakyo.or.jp/>